

## 2015年度 町田市病院事業運営評価委員会（第二回）の概要

### 運営評価委員会とは...

町田市民病院の運営状況について、有識者4名、地域住民代表2名、計6名の委員に適正かつ公正な評価をしていただき、医療及びサービスの質の向上を図るために設置するものです。

- 日時：2016年1月27日（水） 16時00分～17時10分
- 委員：関連大学代表、医師会代表、税理士、地元町内会代表、病院ボランティア経営コンサルタント（欠席）
- 出席者：副市長、病院事業管理者、副院長(統括)、副院長(救急担当)、看護部長、副看護部長、事務部長、医事調整担当部長 外10名
- 議事
  - (1) 町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2015年度上半期）について
  - (2) 2015年度町田市病院事業会計財政見通しについて
  - (3) 質疑・意見交換
- いただいた主な意見
  - ・ コンビニ受診（緊急性のない軽症患者が救急外来を自己都合で受診する行為）をする患者さんによって職員が疲弊し、きちんとした医療を継続して提供できなくなってしまう場合には、公立病院でも時間外選定療養費の加算をとるなどの対策が必要ではないか。
  - ・ ロビーにある院内モニターは有効な広報活動であるため、より一層活用するといい。
  - ・ 診療所から紹介した患者さんが市民病院に来院したという連絡をくれる取り組みは続けてもらいたい。
  - ・ 紹介状を持たない患者さんが、市民病院が本来持っている医療を十分に発揮することができない要因になっているのであれば、検討が必要である。
  - ・ 患者さんの待ち時間対策等のために、逆紹介によって外来患者さんを減らすことも大切である。次回の中期経営計画においては、逆紹介率の目標をもっと高くするべきである。
  - ・ 高額な薬は病院に差益がなく、無駄な在庫になる可能性が高いため、院外処方にした方がいい。

